

令和3年度 岡崎市水道事業会計



心に城を。
魂に鋼を。
いざ起動せん、
岡崎城

よくわかる決算書

岡崎市上下水道局 × 鋼鉄城
プロジェクト

目次

1 決算書とは？	1
まずは、財務三表それぞれの役割について説明するよ！	2
2 経営成績はどうだったの？	3
水道事業の概況を見てみよう！	3
損益計算書の収入を見てみよう！	4
次に、使ったお金（支出）の内容を見てみよう！	5
損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！	6
「資本的支出」（＝損益計算書には載っていない支出）を見てみよう！	7
「資本的収入」（＝損益計算書には載っていない収入）を見てみよう！	8
「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！	9
減価償却費のイメージを見てみよう！	10
まとめ	11
3 「補填財源」の動きを見てみよう！	12
4 水道事業が置かれている現状を見てみよう！	13
5 財務三表の解説	15
【図解】 損益計算書	15
【図解】 貸借対照表	16
【図解】 キャッシュ・フロー計算書	17

1 決算書とは？

岡崎市水道事業では^{こうえいきぎょうかいけい}公営企業会計を採用しています。

公営企業会計では民間企業のように^{ふくしきぼき}複式簿記を使って記帳を行います。

その記帳の内容を取りまとめたものが「決算書」になります。

決算書は、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と財政状態について、^{そんえきけいさんしよ}損益計算書、^{たいしやくたいしやうひやう}貸借対照表、^{ざいむさんびやう}キャッシュ・フロー計算書（財務三表と呼びます）などの決算書類で表しています。

ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。

そのため、使用者のみなさんに決算書に書かれていることを分かりやすくお伝えし、岡崎市の水道事業がどのような経営状況なのかを少しでも知っていただけるよう決算書の概要版を作成しました。

決算書を見てみたけど、見慣れない言葉が多くてよく分からからないぞ…。



岡崎市が舞台の作品「**鋼鉄城アイアン・キャッスル**」

登場キャラクター **松平竹千代くん、服部さやかさん、お市さん**



ボクが決算書の内容を分かりやすく説明するよ！

岡崎市水道マスコットキャラクター

スイットくん

まずは、財務三表それぞれの役割について説明するよ！



損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書を合わせて財務三表と呼ぶんだ！
それぞれ役割があって、さまざまな角度から水道事業の経営状況を把握できるようになっているよ！

経営状況っていうと、やっぱり「儲かったか？」みたいなことか？



「儲かったか？」も大事な情報だね！
他にも、「浄水場などの資産や、返さなきゃいけないお金である負債がどれくらいあるか？」といった情報や、「現金を増やすことができたか？」といった情報も経営状況をみる上で大切なんだ！

「儲かった」と「現金が増えた」は違う情報のの…？



おっ！とっても鋭い質問だね。実はその2つは違う情報なんだ！！
この「わかりやすい決算書」で、その違いを詳しく説明していくよ。



ここではひとまず財務三表それぞれの役割を抑えよう！！
損益計算書が「儲かったか」、
貸借対照表が「資産、負債、資本の状況」、
キャッシュ・フロー計算書が「現金が増えたか」
をあらわす書類なんだ！！

※水道事業における「儲け（利益）」はすべて、施設の更新や借入金の返済に使われます。
健全な運営を続けるために必ず確保しなければなりません。

2 経営成績はどうだったの？

水道事業の概況を見てみよう！

1 水道の給水件数

項目	令和3年度	令和2年度	前年度からの増減
<small>きゅうすいこすう</small> 給水戸数 (戸)	166,769	165,533	1,236
<small>きゅうすいじんこう</small> 給水人口 (人)	384,658	385,469	-811



「給水戸数」は、水道の給水契約の対象となっている戸数のことで、前年度から1,236戸増えたよ！
「給水人口」は、水道水の給水を受けている人口のことで、前年度から811人減ってしまったんだ。

2 水道水の使用量

項目	令和3年度	令和2年度	前年度からの増減
<small>ゆうしゅうすいりょう</small> 有収水量 (m ³)	40,699,726	41,142,773	-443,047



みんなの水道の使用量を合計したものを「有収水量」と言うんだ！
おうちで使われる水の量が減ったことで、前年度と比べて443,047m³のマイナスになったよ。

3 令和3年度決算の特徴

3-1 水道料金基本料金の減額

(税抜)

項目	令和3年度	令和2年度	前年度からの増減
<small>すいどうりょうきんげんがく</small> 水道料金減額 (億円)	4.8	5.8	-1.0



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市民生活及び経済活動の支援策として、前年度から引き続き水道料金基本料金の減額を行ったんだ！
減額で減ってしまった収入は、岡崎市から税金をもらうことで補っているよ。

3-2 純利益の増加

(税抜)

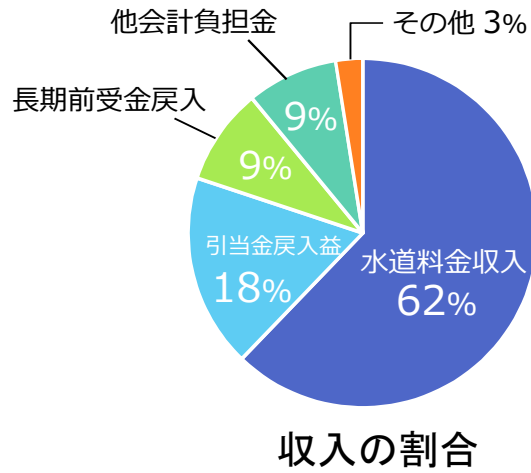
項目	令和3年度	令和2年度	前年度からの増減
<small>じゅんりえき</small> 純利益 (億円)	24.0	2.4	21.6
<small>ひきあてきんれいにゆうえき</small> 引当金戻入益 (億円)	16.7	0.0	16.7



水道事業の1年間の儲けを「純利益」と言うんだ！前年度と比べて21億6千万円も増えているよ！
令和3年度は、使用が見込まれない16億7千万円の「引当金」をすべて取り崩して「引当金戻入益」として計上する特別な会計処理を行ったんだ！
このお金は、今後の水道施設の更新費用などに有効活用していくよ！

損益計算書の収入をみよう！

収入（損益計算書）	(税抜)
内容	金額（円）
すいどうりようきんしゆうにゆう 水道料金収入	5,802,877,584
ひきあてきんれいにゆうえき 引当金戻入益	1,671,030,000
ちようきまえうけきんれいにゆう 長期前受金戻入	834,126,661
たかいけいふたんきん 他会計負担金	788,646,114
その他	234,282,518
合計	9,330,962,877



水道事業は、みんなが払う「水道料金」で経営しているんだよ！！

むむっ！？

でも、「収入」には、「水道料金」のほかに「引当金戻入益」や「他会計負担金」、「長期前受金戻入」ってのがあぞ…。



よく気が付いたね！

「引当金戻入益」は将来の修繕に備えて積み立てしていた引当金を取り崩したものだよ。

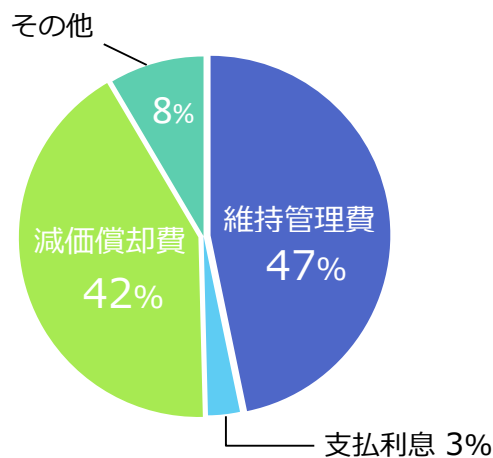
次に、「他会計負担金」は、本来、岡崎市（水道事業は岡崎市から独立しているよ！）や下水道事業が行う業務を水道事業が代わりに行ったときに、その分の費用を負担してもらうお金のことだよ！

例えば、消火栓を修繕する費用や、下水道使用料を徴収する費用のことなんだ！

「長期前受金戻入」は難しいから、もう少しあとで説明するね。

次に、使ったお金（支出）の内容を見てみよう！

支出（損益計算書）	(税抜)
内容	金額（円）
いじかんりひ 維持管理費	3,241,164,629
しはらいりそく 支払利息	196,509,060
げんかしょうきやくひ 減価償却費	2,905,456,407
その他	588,533,522
合計	6,931,663,618



支出の割合

「維持管理費」って具体的には何なの？



川の水や地下水をきれいにする浄水場や、みんなの家まで水道水を運ぶために、いったん水を貯めておく配水場の電気代や薬品費、水道の仕事をしている職員の給料などが「維持管理費」に含まれているよ！

「支払利息」って何の利息？



水道事業の施設を作るときに国の機関などから借り入れたお金の利息になるんだけど、毎年、約2億円もあるんだよ。

もう一つの「減価償却費」って、さっぱりわからないけど…。



「減価償却費」は、「長期前受金戻入」とセットで考えると分かりやすいから、あとでまとめて説明するね！
まずは、損益計算書から分かることを次のページで説明するよ！

損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！

収入－支出＝純利益（純損失）	2,399,299,259円
----------------	----------------

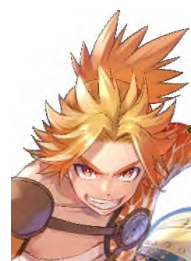


約24億円のプラスだね。

「収入」から「支出」を引いたものがプラスだと「純利益」、マイナスだと「純損失」と呼ぶんだよ！黒字、赤字って言うとわかりやすいかな？

損益計算書から分かるのは、水道事業が黒字だったか赤字だったかってことなんだ！

24億円も黒字なら水道事業の経営は安泰だな！



その通り！！…と言いたいところなんだけど…。

実は損益計算書には載っていない「支出」があるんだ！！



損益計算書には、その1年の間にかかった費用を載せるって決まりがあるんだ！

たとえその年に支払った施設の建設費であっても、建設した施設は、その年だけじゃなく施設がある限りずっと使えるよね。

だから、その1年の間にかかった費用とは言えないから損益計算書の「支出」には載っていないんだ！

ちなみに、この損益計算書には載っていない「支出」のことを、「^{しほんてきしゆつ}資本的支出」って呼ぶよ！！

急に難しくなったな…。

とにかく、施設の建設はその年のことだけじゃないから損益計算書には載っていないんだな。

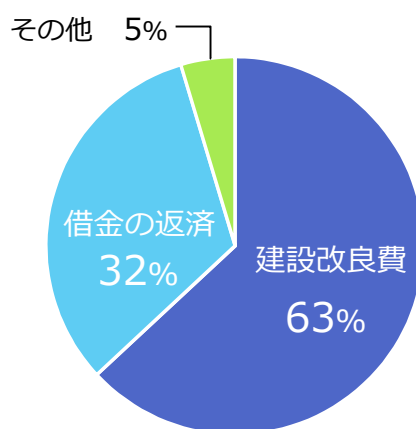
じゃあ結局今年は施設の建設にどれだけお金を使ったんだ？



次のページで「資本的支出」について説明するね！！

「^{しほんてきししゅつ}資本的支出」 (= 損益計算書には載っていない支出) を見てみよう!

資本的支出 (税抜)	
内容	金額 (円)
建設改良費	2,720,379,206
借金の返済	1,393,156,211
その他	200,000,000
合計	4,313,535,417



資本的支出の割合



「建設改良費」は施設の建設費のことだよ。
 施設の建設には約27億円もかかっているんだ!!
 あとは、施設を建設する時に借りた借金を返すお金も損益計算書には載っていないよ。

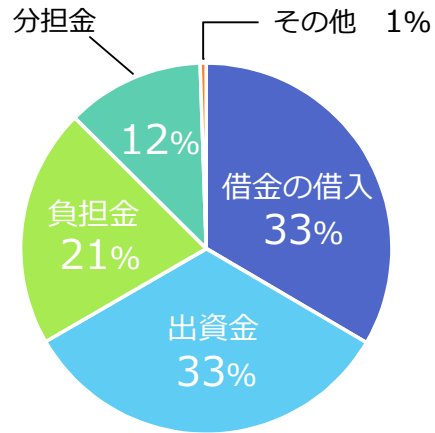
損益計算書に載っていない「支出」が約43億円もあるのね…。
 損益計算書の「収入」は維持管理費などで使ってしまった全然足りない気がするけど、ほかにも「収入」があったりするの…?



そうなんだ!!
 施設の建設費が損益計算書の「支出」に載っていないように、損益計算書に載っていない「収入」もあるんだよ。
 施設の建設のために借りたりもらったりするお金なんだけど、これを「^{しほんてきしゅうにゅう}資本的収入」って呼んでるんだ!
 「資本的収入」について、次のページで説明するね!

「^{しほんてきしゅうにゅう}資本的収入」 (= 損益計算書には載っていない収入) を見てみよう!

資本的収入 (税抜)	
内容	金額 (円)
しゃっきん かりいれ 借金の借入	652,000,000
しゅっしきん 出資金	647,240,478
ふたんきん 負担金 (※)	405,706,732
ぶんたんきん 分担金	234,072,000
その他 (※)	10,168,849
合計	1,949,188,059



※消費税の計算上生じる雑支出を引いていますので、決算書の数値と一致しません。

資本的収入の割合



「借金の借入」が大きいことが分かるね。

「出資金」は、大きな地震がきても安心安全な水道水を配るための耐震化事業や、令和2年度に水道事業へ統合された「簡易水道事業」の施設を建設するために、岡崎市からもらっているお金だよ。

岡崎市からの「出資金」ということは、税金が投入されているってことか？



するどい！

その通り。「出資金」は税金だよ。

地震のような災害への対策はとってもお金が必要だから、水道料金だけではなかなか進められないんだ。だから税金をもらっているよ！

あと、令和2年に水道事業に統合した簡易水道事業は、水道を使っている人が少ない地域を対象としていて、どうしても経営が厳しくなってしまうんだ。

そこで、経営を安定させるために、岡崎市から「出資金」をもらうことになったんだ！



じゃあ最後に、損益計算書で純利益 (純損失) を計算したように、「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

資本的収入－資本的支出

-2,364,347,358円

23億6千万円の赤字！？

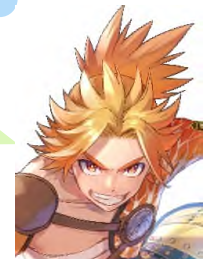
いったいどうやって施設の建設をしているの…？



この赤字分も損益計算書の「収入」で補わなくちゃいけないんだ。

損益計算書の「収入」…？

そうか！損益計算書の「収入」は、「維持管理費」や「減価償却費」で使ってもまだ「純利益」が24億円あるから、赤字分を補うことができるな！



すごい！よく覚えているね！！

でも、ここで注意しなければいけないことがあって、「純利益」には「減価償却費」や「長期前受金」のようにお金の出入りが発生しないものが含まれているんだ！

その年に支払った施設の建設費であっても、建設した施設は、その年だけでなく施設のある限りずっと使えるから、損益計算書の支出には載せないんだね。

その代わりに、建設費を施設が使える年数で割ることで、その施設の1年分の支出を計算するんだ。これが「減価償却費」だよ！！

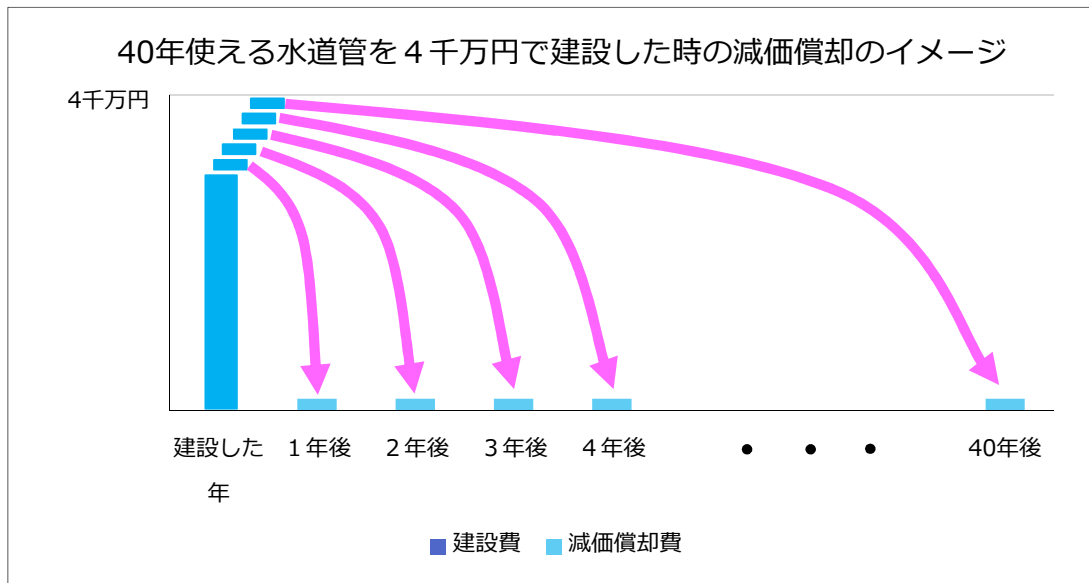
「長期前受金戻入」は、「減価償却費」の収入バージョンで、施設の建設の際にもらった「分担金」や「補助金」を、その施設が使える年数で割って、1年分の収入を計算したものなんだ！

なんだか言葉だけではなかなか理解できないわ…。



そうだね、言葉で説明するのがとっても難しいから、次のページで図を使って説明するね！！

減価償却費のイメージを見てみよう！



建設費4千万円を使える年数40年で割った100万円が毎年の減価償却費になっていることがわかるね！！
長期前受金戻入も、「支出」か「収入」かだけの違いで考え方は同じだよ！

う〜ん…。難しいけど、なんとなく分かったぞ。
でもこれが、「資本的収入－資本的支出」の赤字とどんな関係があるんだ？



また少し難しい話になってしまうけど、「減価償却費」はその年にお金が使われていない費用なんだ。

上の図で言うと、建設した年に4千万円は支払い済みだから、1年後以降の100万円はお金が出て行ってないんだ。

だから、損益計算書の純利益を考える時には、水道料金等の収入から減価償却費を引いたけど、実際には、その分のお金が手元に残っているんだよ。

「減価償却費」は、むかし支払った「建設費」のうちの今年度分を計上してるだけだから、実際にはお金の支払いは無いのね！！
だからこのお金は、「資本的収入－資本的支出」の赤字を埋めるのに使えるってことかしら？



その通り！
逆に「長期前受金戻入」は、むかしもらった「分担金」や「補助金」のうちの今年度分を計上しているだけだから、お金の動きを考えるとときには引かなきゃいけないんだ！！

まとめ



ここまでの話をまとめよう！！

「資本的収入－資本的支出」の赤字額は約23億6千万円。

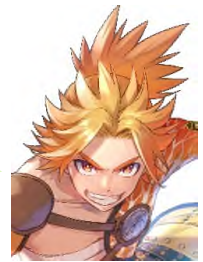
損益計算書上の純利益（黒字額）は約24億円。

損益計算書で支出に計上したけど手元に残っているお金（減価償却費分）は約29億1千万円。

損益計算書で収入に計上したけど使えないお金（長期前受金戻入分）は約8億3千万円。

資本的収入－資本的支出	-2,364,347,358	円
損益計算書上の純利益（黒字額）	+ 2,399,299,259	円
減価償却費	+ 2,905,456,407	円
長期前受金戻入分	- 834,126,661	円
	<hr/>	
	2,106,281,647	円

計算結果がプラスってことは、「資本的収入－資本的支出」の赤字分を補うことができたんだな！



そうだね！

そして、今年は21億1千万円ほど使えるお金が増えたんだ。

このお金は「^{ほてんざいげん}補填財源」と呼ばれているよ。

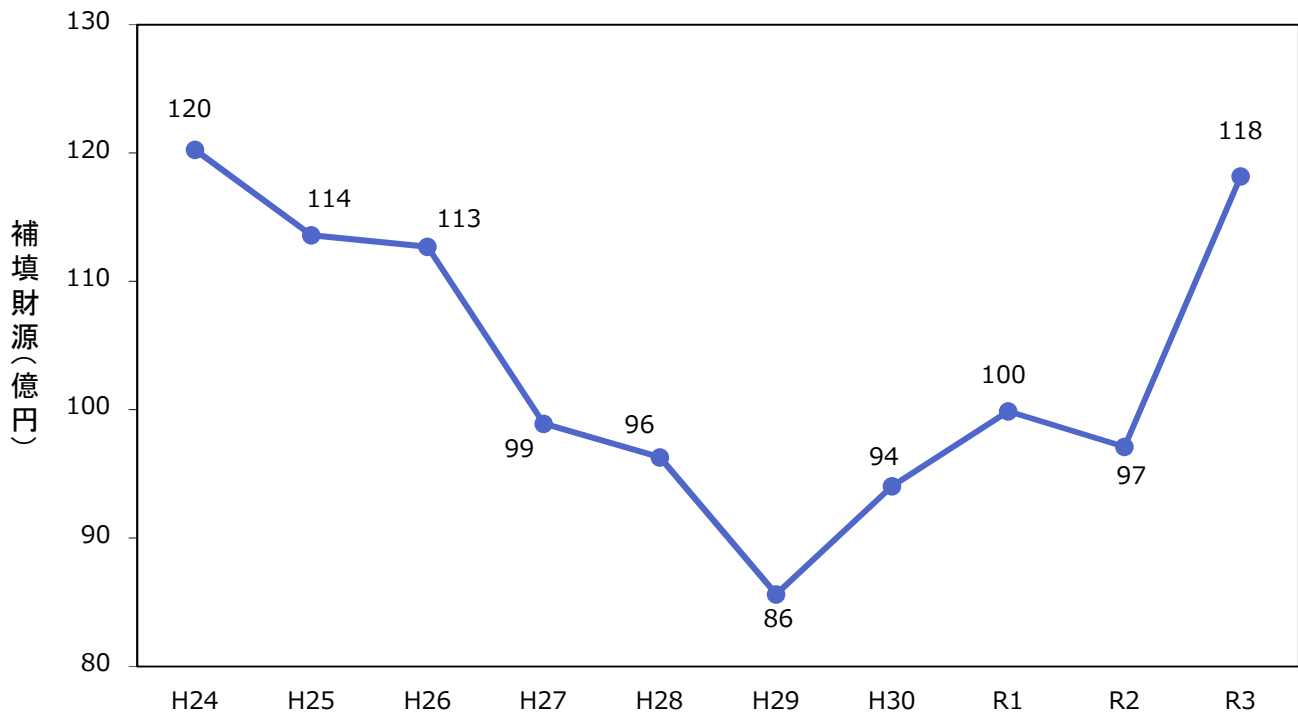
「補填財源」は今後の建設費や、赤字が出たときの補填に使えるお金になるんだよ！

損益計算書で黒字が出ているから安心！っていうわけじゃなくて、「資本的収入」と「資本的支出」の結果も見ないといけないのね。

「補填財源」が今どれくらいあるのか知りたいわ。



3 「補填財源」の動きを見てみよう！



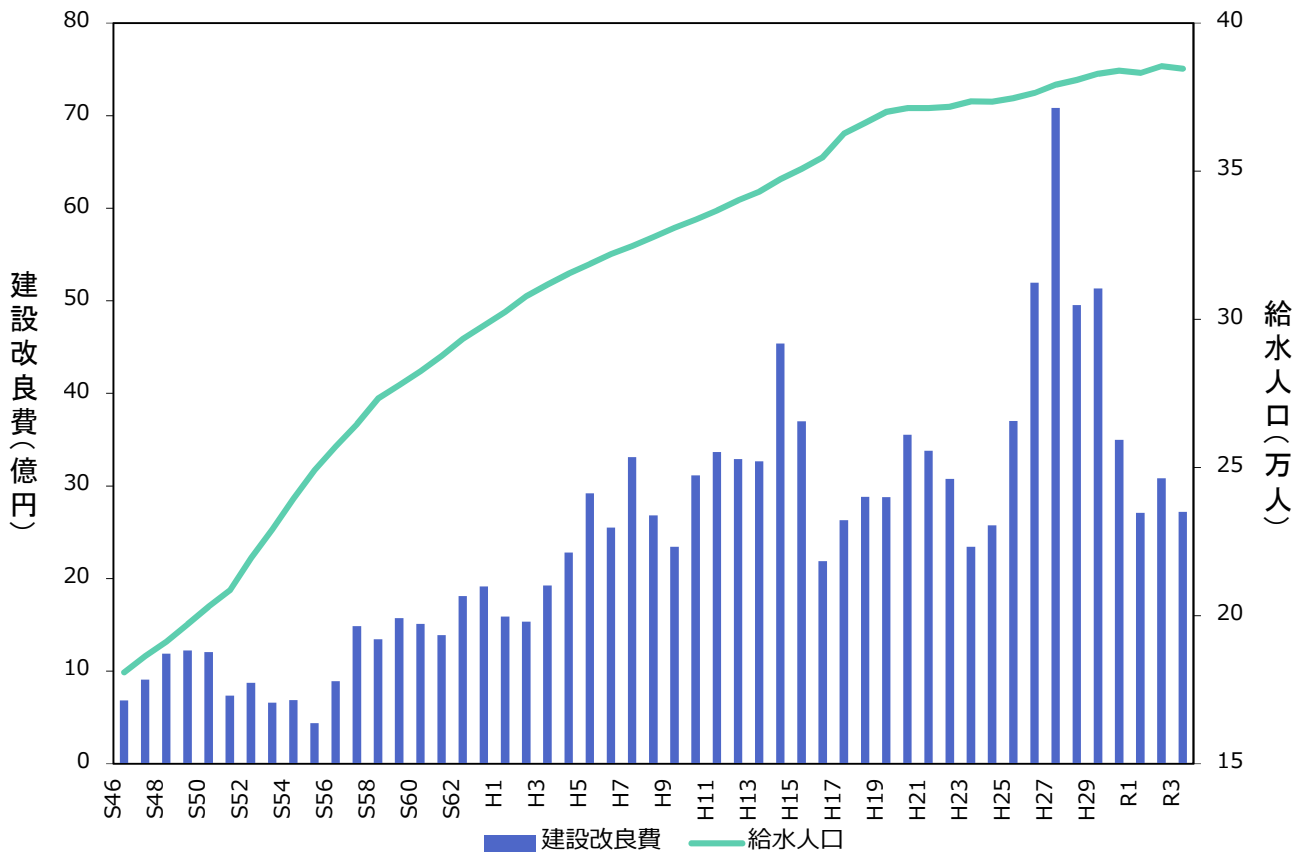
「補填財源」の10年間の動きを見てみると、80億円以上で推移していることがわかるね。

今は120億円ぐらい「補填財源」があるんだな！
これが多いのか少ないのか、桁が大きすぎて分からないぞ…。



さっき、「補填財源」は今後の建設費や赤字が出た時の補填に使えるお金と言ったんだけど、
水道事業はこれからたくさんの建設費が必要な状況なんだ！
水道事業が置かれている現況を見てみよう！

4 水道事業が置かれている現状を見てみよう！



岡崎市内には、約2,353kmもの水道管、13箇所の浄水場や75箇所の配水場があるよ。

その中には水道事業の拡張に伴って建設してきた古い施設がたくさんあって、古いまま放置すると水道管の破裂みたいな事故につながってしまうよ。

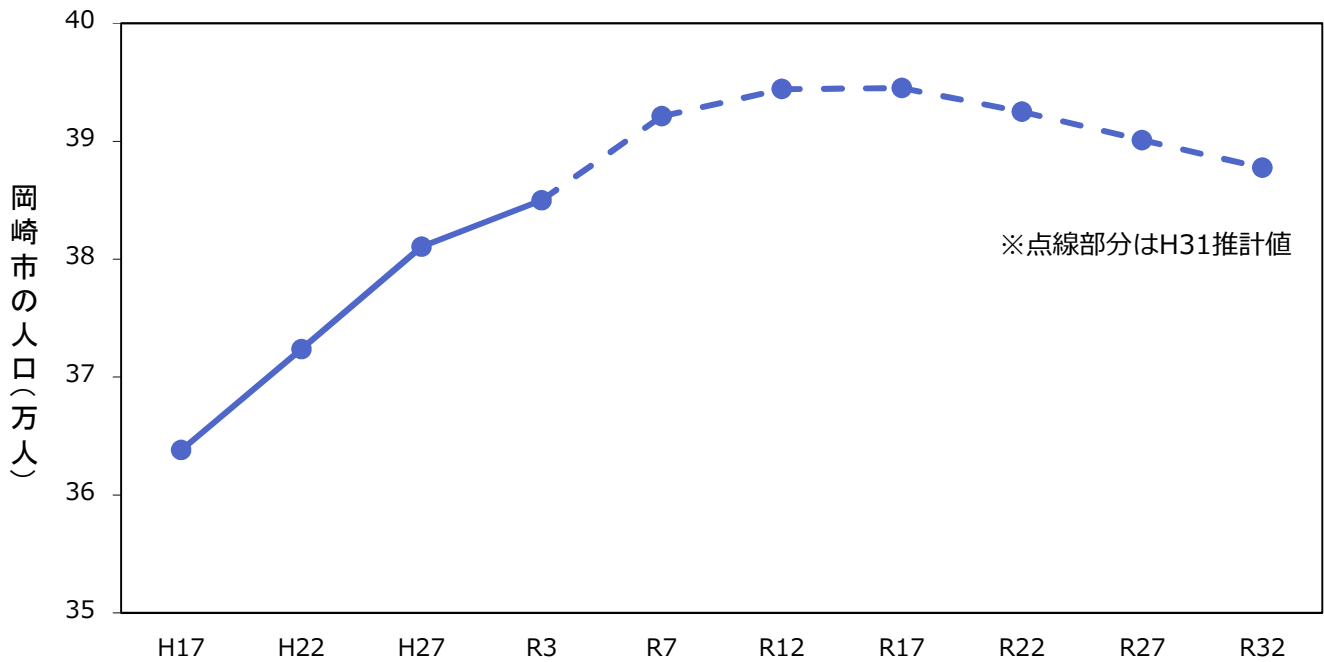
そうならないために、施設を更新する必要があるんだけど、それにはお金がとてかかるんだ！

施設は作って終わりじゃなくて、ずっと使えるように新しくしていかないといけないのね。

でも、給水人口（水道を使っている人の数）が増えているから、水道料金収入が増えて、お金の心配はしなくても良さそうだけど…。



今後の岡崎市の人口がどうなっていくのか見てみよう！



岡崎市の人口は令和17年まで増加して、その後は緩やかに減少していくと見込まれているよ。

人口が減少すると水道を使う人も減ってしまうから、水道料金の収入が減っちゃうんだ。

そいつは大変じゃないか！水道事業はどうなっちゃうんだよ…！



問題が山積みだけど、手遅れにならないように、長期的な視点に立って将来を見据える必要があるんだ！

水道はみんなの生活に最も身近で重要なライフラインだから、上下水道局ではこれからも安定して水をお届けするために、「上下水道新時代 暮らしを守る 次の100年へ」を理念とする岡崎市上下水道ビジョンを令和2年度に策定したよ！

その理念の実現に向けて、長期的な視点に立った効率的な改築更新計画を作成している最中なんだ。

そして将来の留保資金残高がどうなるのかを見て、手遅れになる前に手が打てるようにしていくよ！！

施設が古くなったのに、お金がないからって新しくできないと困っちゃうものね。

そのためにお金がたくさん必要になるのね！

ずっと水道事業が続けられるようにみんなで考えていかなきゃね！



5 財務三表の解説

【図解】損益計算書（決算書P10～11）

損益計算書は、ある一定期間における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益、これに対応するすべての費用、最終的な損益を記載する報告書です。

★損益計算書から分かること

損益計算書からは、どのような経営活動によって、どれだけの経営成績を上げたかを知り、それに基づいて過去の経営を分析し、また、将来の方針を立てることができます。

★注目ポイント

①営業損失

本業による損益が分かる！

水道事業の本業は、きれいな水を作って、みなさんにお届けすることです。水をきれいにする費用や、みなさんからいただいた水道料金収入等の、主たる営業活動の結果を示しています。

②経常利益

経営活動から生じた損益が分かる！

本業に関する損益に加えて、国や県の補助金、一般会計からの繰入金（税金）による収入や、借入金利息の支払い等の資金調達等に関する損益の結果を示しています。

③当年度純利益

最終的な損益が分かる！

1年間のすべての損益の結果を示しています。

3つの方法で損益を把握します
損益 = 収益 - 費用



プラスなら利益が出ている！
マイナスなら損失が出ている…



2 令和3年度岡崎市水道事業損益計算書

（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位 円）

1 営業収益			
(1) 給水収益	5,802,877,584		
(2) 受託工事収益	2,610,062		
(3) その他営業収益	162,358,532	5,967,846,178 (ア)	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	1,874,049,569		
(2) 配水及び給水費	610,955,811		
(3) 受託工事費	617,638		
(4) 業務費	381,905,242		
(5) 総係費	373,636,369		
(6) 減価償却費	2,804,447,191		
(7) 資産減耗費	622,781,598	6,668,393,418 (イ)	
営業損失		700,547,240 (ウ) = (ア) - (イ)	
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	10,255,675		
(2) 他会計負担金	108,887,280		
(3) 長期前受金戻入	834,126,661		
(4) 資本費繰入収益	101,134,917		
(5) 雑収益	20,347,429		
(6) 他会計補助金	526,270,102		
(7) 引当金戻入益	542,736	1,601,564,800 (エ)	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	196,509,060		
(2) 繰延勘定償却	0		
(3) 雑支出	64,150,657	260,659,717 (オ)	1,340,905,083 (カ) = (エ) - (オ)
経常利益		640,357,843 (キ) = (ウ) + (カ)	
5 特別利益			
(1) 固定資産売却益	89,444,007		
(2) 過年度損益修正益	1,077,892		
(3) 引当金戻入益	1,671,030,000	1,761,551,899 (ク)	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	2,610,483	2,610,483 (ケ)	1,758,941,416 (コ) = (ク) - (ケ)
当年度純利益		2,399,299,259 (サ) = (キ) + (コ)	
前年度繰越利益剰余金		0	
その他未処分利益剰余金変動額		500,000,000	
当年度未処分利益剰余金		2,899,299,259	

【図解】キャッシュ・フロー計算書（決算書P36、37）

★キャッシュ・フロー計算書とは？

キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

★キャッシュ・フロー計算書から分かること

損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」をその理由と合わせて知ることができます。

★注目ポイント

①現金を増やすことはできたか？

まずは現金が増えているか、減っているかを確認します。その後で各キャッシュ・フローを見ると、なぜそうなったのか？を知ることができます。

②「業務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスか？

水道事業を続けるためには、本来の営業活動で得たお金（水道料金）で、水をきれいにするための浄水場や水を配るための水道管の維持管理・更新をしていかなければなりません。そのためには、「業務活動によるキャッシュ・フロー」は必ずプラスにならなければなりません。

③「投資活動によるキャッシュ・フロー」はどれくらいマイナスか？

現在、多くの水道施設が更新期を迎えており、多額の更新費用を必要としています。施設の更新をすれば「投資活動によるキャッシュ・フロー」は必ずマイナスとなりますが、その規模が重要です。

④「財務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスかマイナスか？

水道事業では、水道料金で稼いだ資金に加えて、お金を借りることで水道施設の更新を行っています。「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済による資金の増減を表し、借りた金額よりも返す金額の方が多ければマイナスに、借りた金額が返す金額よりも多ければプラスになります。

令和3年度のキャッシュ・フロー計算書からは、本来の営業活動で27億円のお金を得て、施設の更新等で23億円、借入金の返済に7千万円使ったから、結果としてお金が3.6億円増えたことが分かるんだね！



令和3年度岡崎市水道事業キャッシュ・フロー計算書 （令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位 円）

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	2,399,299,259
減価償却費	2,804,447,191
固定資産除却費	101,009,216
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△ 17,315,343
修繕引当金の増減額（△は減少）	△ 1,671,030,000
賞与等引当金の増減額（△は減少）	△ 5,705,000
賞例引当金の増減額（△は減少）	△ 204,607
長期前受金戻入額	△ 834,126,661
資本費繰入収益	△ 101,134,917
受取利息及び受取配当金	△ 10,255,675
支払利息	196,509,060
有形固定資産売却益（△は益）	△ 89,444,007
過年度損益修正益	△ 1,077,372
未収金の増減額（△は増加）	1,441,328
未払金の増減額（△は減少）	368,451,752
前払金の増減額（△は増加）	△ 213,263,130
その他流動負債の増減額（△は減少）	△ 21,152,159
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,696,323
小計	2,908,145,258
利息及び配当金の受取額	10,255,675
利息の支払額	△ 196,517,680
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,721,883,253
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 2,948,932,390
有形固定資産の売却による収入	91,781,290
投資有価証券の取得による支出	△ 200,000,000
工事負担金による収入	372,092,629
分担金による収入	234,072,000
他会計負担金による収入	152,632,776
県補助金による収入	7,831,566
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,290,522,129
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	652,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,393,156,211
一般会計からの出資による収入	667,490,909
リース債務の返済による支出	△ 565,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 74,230,834
資金増加額（又は減少額）	357,130,290
資金期首残高	12,742,288,179
資金期末残高	13,099,418,469

「業務活動によるキャッシュ・フロー」は、水道事業本来の営業活動で資金を稼げているか？を表しています。



「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、水道施設の更新等、設備投資にどれだけ資金を使ったか？を表しています。



「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済のどちらを多くしたか？を表しています。





松平竹千代

ちやんと見るさ。見るべきものを。
水道事業決算書の世をよリアル……

鋼鉄城
アイアン
キヤッスル
KOU-TETSUJO
IRON CASTLE

- ・原案・原作／ANIMA
- ・作者／手代木正太郎
- ・イラスト／sanorin
- ・メカデザイン／太田垣康男